

シンポジウム「Smart Energy Island: Resilience and Recovery following the Great East Japan Earthquake」

2月21日(金)午後5時から7時まで、当館はジャマイカ工科大学(UTECH)との共催でシンポジウム「Smart Energy Island」を UTECH にて開催しました。また、シンポジウム開催に先立って、日本企業をはじめとするスマート・エネルギー関連企業による展示会も実施しました。当日は、約300名がシンポジウムに参加し、メインスピーカーのダン・ビン氏(米国ビン・システムズ代表)による講演を熱心に聞き入っていました。ダン・ビン氏は、国際交流基金のプログラムによりジャマイカを訪問しました。

シンポジウムでは、UTECHのモリソン学長、高瀬大使による開会の挨拶に続き、当館の小山書記官が東日本大震災からの復興とスマート・エネルギー関連のプロジェクトについてのプレゼンテーションを行いました。その後、ダン・ビン氏による講演が行われ、その中で、東日本大震災の時の電力事情などを説明しつつ、21世紀のスマートグリッドの姿やスマート・エネルギーに対する日本の消費者動向、企業動向が紹介され、ジャマイカでどのような形のスマート・エネルギーが導入できるか、についての考えが述べられました。講演後、パネリストによるディスカッションが行われ、また、会場の参加者からも多くの質問やコメントが述べられました。



ダン・ビン氏による講演



パネリストによるディスカッション